

関西のニュース



「不誠実で許せない」 職員が安全管理怠り、男子生徒を死亡させた放課後デイ事件 裁判で両親が厳罰求める

🕒 11月25日 19:25

keywalker

すぐにWebデータ収集ができる!

ShtockData

0円

ShtockData

Webスクレイピングツール

お問い合わせ

※まずは無料で資料ダウンロード

放課後等デイサービス施設で、職員が安全管理を怠り、男子中学生を死亡させた罪などに問われている裁判。

「不誠実で許すことはできない」遺族が法廷で厳罰を求めました。

【息子を亡くした父親】「パパしっかりしゃべってくるね、はるの悔しさをぶつけてくるね、そう思って来ました」

「息子が亡くなった責任の重さ」を訴えたいと、意見陳述に臨んだ両親。

おとし12月、清水悠生さん(当時13)が、障害のある子どもが通う放課後等デイサービス施設「アルプスの森」で、送迎の際、施設にとめてあった車から飛び出して行方不明になり、その後、川で死亡しました。

管理責任者だった宇津雅美被告(66)は、安全管理を怠り、悠生さんを死亡させた罪などに問われ、初公判で起訴内容を認めました。

悠生さんは、衝動的に動くことがあったため、送迎は職員2人で対応することになっていましたが、事故当日は1人で対応していました。

判決は12月23日に言い渡されます。